



学校に行きづらい  
子どもたちのための  
育ちと学びの  
サポートブック

大津市エリア（保存版）





## はじめに

このハンドブックをお手にとりいただき、ありがとうございます。

現在、学校に行きづらさを感じている、または不登校状態のお子様のおられる保護者のみなさま、不安で孤独なお気持ちではないでしょうか？学校に行けない状態が続くと、本人はもちろん、親も大変心配でつらいものです。

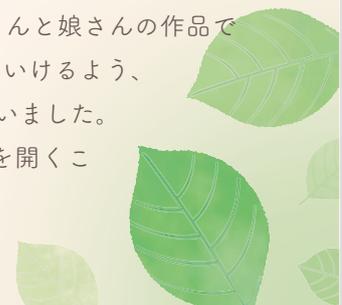
このハンドブックは、そんな学校に行きづらさを感じている子どもをもつ親たちの声を集め、当事者の目線を大切に作成した、学校に行きづらい子どもたちのための「育ち」と「学び」を応援するためのサポートブックです。

大津市内や全国の不登校に関する民間の親の交流会や子どもの居場所、フリースクール等の情報が掲載されています。数年前、我が子が不登校となり、ふくらむ不安を抱えながら精一杯毎日を過ごしてきた私たちが当時一番欲しかった情報です。

他府県には、当ハンドブックと同じような子どもの居場所に関する民間の情報誌が多数存在していますが、滋賀県にはこのようなものがありませんでした。そのため、不登校に悩む保護者のみなさんや子どもたちが、つらさを一人で抱えて孤立せず、学校以外の場所で気持ちを吐き出したい、子どもの居場所を見つけたいと思ったときに役に立つハンドブックをつくろうと、このプロジェクトを企画しました。この本は、学校に行きづらい子どもであるご本人にもぜひ目に留めていただきたいなと思います。新型コロナウイルスの影響もあって、なかなか作業が進まずにもどかしく思うこともありましたが、こうして本にできたことがとてもうれしいです。市民の手で、手探りで作ったものなので、至らない点もあるかと思いますが、このハンドブックが子どもを取り巻く環境の変化につながる一つのきっかけになればいいなと願っています。

学校には相談しているし、先生も親身になってくれている…。でも、学校に行かない(行きづらい)我が子の状況に、本当にこのままでいいのかと常に不安なのが私たち保護者です。そんな時は、この冊子を参考に、ぜひ誰かに、またはどこかにつながってほしいと思います。だれかに相談することは、決して恥ずかしいことではないですし、だれかとつながることは親のストレスを軽減したり、子どもが自ら心を開くきっかけにもなったりします。また、このハンドブックを通して、これまで形でしか知らなかった他の団体の取り組みを知り、子どもたちを支援する民間団体の、ゆるやかな横のつながりや連携にもなればいいなと思います。そして、学校の先生方にも、地域に子どもの育ちと学びを支えるリソースがあることを知っていただき、子どもの成長を支えるためのお役に立てただけならうれしいです。

最後になりましたが、表紙写真の編みぐるみ作品は、このハンドブック作りを通して出会った子どもの居場所活動「くりえいとらぼ」を運営する梅田さんと娘さんの作品です。学校に行きづらい子どもたちが、心穏やかに健やかに成長していけるよう、願いをこめて作品を生み出してくれました。本当にありがとうございました。私たちはこのハンドブックが、未来ある子どもたちの明日への扉を開くことに少しでもお役に立てたらうれしく思います。



# もくじ

ハンドブックをご活用いただくにあたって……………	3
保護者アンケート～居場所の必要性にせまる！～……………	4
学校に行きづらい子どもの支援団体 MAP（大津市）……………	6
■ 相談窓口 ……………	7
【コラム1】 教育機会確保法って知ってる？ ……………	12
■ 居場所 ……………	13
■ フリースクール・オルタナティブスクール ……………	19
■ 親の会・家族の会 ……………	25
■ 滋賀県内で公的相談機関をお探しの方へ	
医療・保健・福祉・教育 公的相談窓口 ……………	31
【コラム2】 耳より情報	
医療・保健・福祉・教育分野の公的相談機関等をさらにお探しの方へ……………	33
■ 全国規模の民間団体（親の会・相談窓口・居場所等オンライン参加可）……………	34
おわりに……………	36

## このハンドブックの使い方

この冊子は、①相談窓口 ②居場所 ③フリースクール等 ④親の会のカテゴリに分けて編集していますが、団体によっては上記①～④のカテゴリにプラスした機能をお持ちの団体もあります。各種団体の得意分野を見極める時に下記のマークをご活用ください。



居場所

家や学校以外の、子どもたちが安心して過ごせる場です。



訪問支援

スタッフが家庭に赴いて支援を行います。



フリースクール

子どものペースを大切にした教育の場です。



学習支援

進学や高卒認定をめざした学習も行います。



自助グループ  
(本人)

同じ悩みをもつ人同士が集まり、悩みをシェアしたり互いの生き方を参考にしたりします。



発達障害

発達障害に詳しい支援者がいます。



親の会

親同士の交流や情報交換の場です。



オンライン  
対応可

オンラインでの相談・支援を行います。



相談・  
カウンセリング

相談やカウンセリングを受けることができます。

# ハンドブックを ご活用いただくにあたって

○情報は、あくまでもハンドブック作成時点のもので、民間団体及び公的相談機関等は、日々よりよい運営と活動をするために変化しています。このハンドブックに掲載されていない団体等ございましたら、お知らせください。

○この情報誌は、特定の団体を推奨するものではなく、また下記の基準を満たす団体を網羅的に掲載するものであり、その支援の質を保障するものではありません。

以上のため、各団体のサービスをご利用される際には、保護者の方やお子様ご本人が見学、体験するなど直接得た情報で判断していただきますようお願い申し上げます。

## 【各種団体掲載基準】

1. 当方が用意した掲載項目すべてに回答でき、また情報公開が可能なおところ
2. 当プロジェクト担当者による訪問をお受けいただけるおところ
3. 主に、小・中学校の不登校児童生徒を対象にしていること
4. 子どもの人権を尊重した支援活動をしていること
5. 学校法人ではないこと
6. 宗教や政治活動を主たる目的とした団体ではないこと
7. 特定の公職者（候補者を含む）、または政党を推薦、支持、反対することを目的とした団体ではないこと
8. 暴力団ではないこと、暴力団もしくは暴力団員の統制の下にある団体ではないこと

## この冊子を ご覧になるあなたへ

この冊子には、あなたの学校に行きたくないという気持ちを尊重し、話を聞いてくれたり一緒にいてくれたりする人や安心して過ごせる居場所が紹介されています。ここなら行ってみようかな、話を聞いてほしいなと思ったら自分に合いそうな場所を探してみてくださいね。あなたと同じ悩みをもつ仲間にも出会えるかも。

## 保護者の方へ

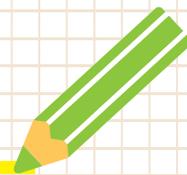
この冊子には、様々な相談場所や親の会の情報があります。お子様の状況にお悩みの方は、まずは、話してほしいなと思います。また、お子様の居場所をお探しの方には、支援団体によって、有料・無料、方針、活動内容もそれぞれに違いますので、ご家庭の状況やお子様にあうかどうかなど、慌てずにていねいに探してみてください。

## 学校の先生・支援機関の方へ

この冊子は、学校の先生や支援機関の方々に、学校以外にも子どもや若者を支援する場があることをお伝えするものです。教育相談・登校支援等に日々ご尽力されていることと思いますが、ご本人の状況から必要とご判断いただける子ども・ご家庭がありましたら、ぜひこの冊子の内容をお知らせいただけたら幸いです。

# 保護者アンケート

## 居場所の必要性にせまる!



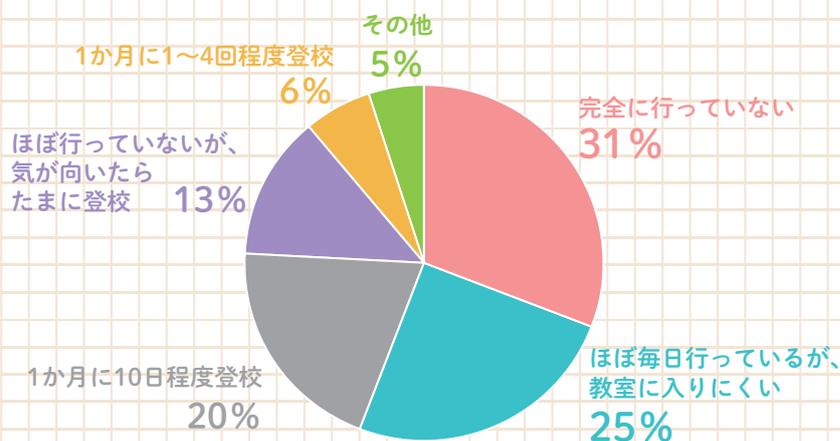
冊子を作成するにあたり、学校に行きづらい子をもつ保護者61名（主に大津市に在住）を対象にアンケート調査を実施。（お子様は小学生～高校生年齢）不登校となるきっかけや背景は様々ですが、「学校に行きたくない」と我が子が言い出した時、保護者はどのようなことに困り、その状況を受け止めていったのでしょうか。また、このような子どもや保護者にとって学校や家庭以外の居場所のニーズはどれくらいなのでしょう。本音に迫ります。

\*参考：令和元年度の大津市の不登校児童生徒数は225人（大津市ホームページより）

Q1

### お子様の学校への登校頻度

（お子様の状況に一番近いものをお選びください。放課後登校も含む。）



子どもの状態によって登校日数は様々ですが、「ほぼ毎日行っているが教室に入りにくい」という回答が25%も。がんばっているのだと感じる一方で、心がこわれないように周りの大人がしっかりとサポートしたいですね。

Q2

### お子様が学校へ行きづらくなったきっかけは？

（複数回答可）

1位	日課など学校の決められたルール	48%
2位	友達との関係	46%
3位	教室環境	38%
4位	先生との関係	36%
5位	勉強不安	21%

人間関係や学校環境がきっかけで学校に行きづらくなったことがよくわかりますね。この他にも、感覚過敏や家庭の事情、また好奇心がありすぎて同級生と学びのペースが合わない等といった回答もありました。新型コロナウイルスがきっかけだったと回答された方は5%でした。

Q3

### 学校に行きにくくなった時にどんなことに困りましたか。

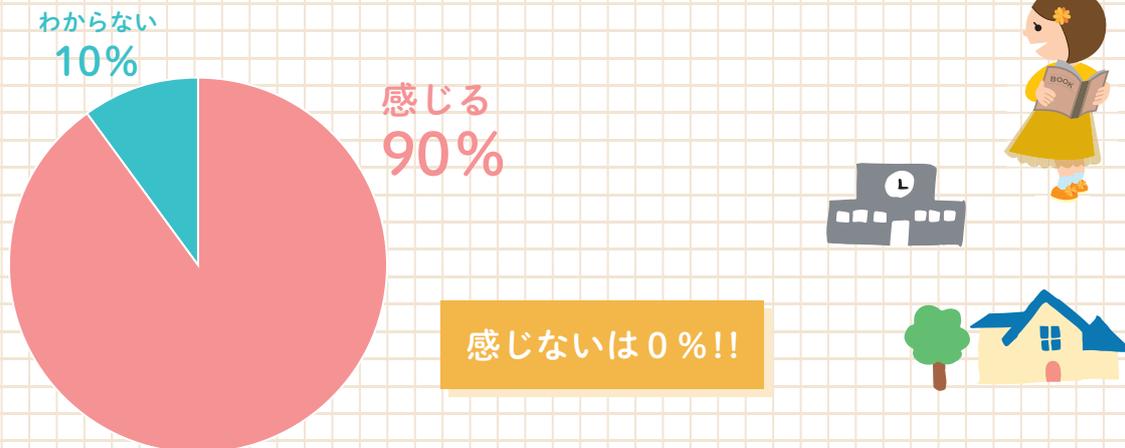
（複数回答可）

1位	先のことが見えなくて不安だった	62%
2位	学校以外に行ける居場所がない	48%
3位	相談できる人がいなかった	36%
4位	勉強が遅れる	34%
5位	仕事を休む、家族に迎えを頼む等の調整	23%

ダントツが多かったのが「先が見えない不安」。本当につらい毎日を送っておられたのが想像できます。また、注目したいのが「学校以外に行ける居場所がない」という回答がおよそ半数だったこと。学校に行かない子どもが、どうやって社会性を育てていくのか親としては心配ですね。また見逃してはいけないのが働いている保護者の仕事の調整。これが大きなストレス。ランキングには入っていませんが、我が子の不登校で仕事をやめ、経済的不安に陥ったという回答も。

Q4

お子様が行きしぶったり不登校になった時、学校以外の居場所は必要だと感じますか？



保護者の声

外出して、誰かとつながることで、元気が湧いてくると実感している。何かつながりがないと、親も子どもも疲弊してしまいます。



本人は今は学校や学校の友達に気持ちを向けているので、まずは学校の中のサポート体制の充実を望みますが、子どもの状況によって多様な、身近な居場所が必要だと思います。

親子で孤独だった。人と会うことで悩みや違いを知ったり、いろんな世界を感じれる方がいいと思う。学校以外にもいろんな生き方があると思うので。



Check!

たいせつ

我が子が不登校になった時、やはり学校外の居場所を求めている保護者の方は多いようです。学校は学びの多い場所ですが、本人の状態から見て登校することが適切でない場合は決して学校へ行くことがすべてではありません。(コラム1 p.12 参照) 保護者や子どもたちが、学校に行けないことを責めるのではなく、学校以外の場所でも学び、育つという気持ちで自分に合った場所や過ごし方が見つかるといいなと思います。また、安易に居場所につながろう(つなげよう)とせず、子どもの状態や性格、願いをしっかりと把握し、学校の先生方と保護者、地域の力を合わせて子どもの育ちと学びを支えるという視点で、あたたかく見守りたいですね。本人が安心して過ごせる居場所を経て、そこでの学びやエネルギーの回復によって再び「学校へ行きたい」「社会に出たい」「自立したい」といった意欲が湧いてくるケースも多いですが、そのタイミングや形は子どもによって様々です。その“芽”を大切に育てることが私たち大人の役割であると考えています。

大津市

# 学校に行きづらい 子どもの 支援団体MAP

## 相談窓口

- ① NPO法人SKCキッズカレッジ…………… P8
- ② 大津市子ども・若者総合相談窓口…………… P9
- ③ こばと子ども家庭支援センター…………… P10
- ④ フリールームえこ〜…………… P11

## 居場所

- ⑤ 特定非営利活動法人あめんど…………… P14
- ⑥ くりえいとらぼ…………… P15
- ⑦ NPO法人こどもソーシャルワークセンター…………… P16
- ⑧ 不登校の子ども達の居場所 にじっこ…………… P17
- ⑨ びわフリ〜びわ湖フリーわいわい…………… P18

## フリースクール・オルタナティブスクール

- ⑩ Free School シャローム学園…………… P20
- ⑪ 適応教育教室 ハーフステップ…………… P21
- ⑫ TRIUMPH〜トライアンプ〜…………… P22
- ⑬ 「昼TRY部」滋賀校…………… P23
- ⑭ フォルツァ…………… P24

## 親の会・家族の会

- ⑮ will be smile ～不登校から多様な学びを考える親の会@大津…………… P26
- ⑯ えこちゃんステーション（えこステ）…………… P27
- ⑰ シヤイン…………… P28
- ⑱ シェアの部屋…………… P29
- ⑲ ひまわりんぐ…………… P30

## 滋賀県内公的相談機関

- ⑳ 大津市子ども家庭相談室…………… P32
- ㉑ 滋賀県心の教育相談センター【野洲市】…………… P32
- ㉒ 滋賀県子ども・若者総合相談窓口/滋賀県ひきこもり支援センター  
（滋賀県立精神保健福祉センター）…………… P32





# 相談窓口

子どもが学校に行きにくいようだ。でも、どこに相談すればいいかわからない。学校の先生とは違う視点での相談窓口がほしい。そんなときに活用できる場所です。まずは相談してみることで、次への足がかりが見つかるかもしれません。

# ① NPO法人SKCキッズカレッジ



住 所 | 相談室：大津市平津2丁目1-1 滋賀大学教育学部構内  
事務所 & 学習室：大津市平津1丁目37-5

最 寄 り 駅 | JR石山駅、京阪バス滋賀大学前

代表責任者 | 理事長：久保田 あやこ（元滋賀大学教育学部特任教授）

電 話 番 号 | 077-511-9589

F A X | 077-511-9589

E - m a i l | tnposkc@gmail.com

U R L | <http://www.shigadaikids.net/>

参加対象者 | 相談はどなたでも。地域の限定なし。有料です。お問い合わせ下さい。

活 動 日 時 | 現在、火、水、木、土曜日。お問い合わせ下さい。

参 加 費 | 事業により異なります。お問い合わせ下さい。



## 活動内容・施設や活動の雰囲気

読み書き困難のある子どもを中心に、発達障害全般の相談、アセスメント、学習指導、発達障害のある青年、成人の相談・カウンセリング。不登校相談。最近の不登校の場合、背景に発達障害があることが少なくありません。その場合、発達障害に十分な対応が必要です。キッズカレッジの基本的スタンスは、子ども、保護者の安心と自尊心、自己認識を中心として、発達の視点で取り組みます。発達障害のある子どもの本質は、「まじめ、がんばり、やさしい」にあります。基本は1対1の対応で行います。

## スタッフ紹介

研究者、大学院生、心理士、現職教員など約20名。スタッフは、課題を出しますが、子どもはしない自由があります。文字指導では、直さない、間違いを指摘しない、たくさん書かない、自分で調べる、など「安心と自尊心」を大切にしている関わりをします。

## メッセージ

読み書きの困難は他の発達障害と異なり、しっかりしたアセスメントをしないと分かりません。思春期前からの相談が大切です。思春期、青年期と困難は格段に大きくなります。発達障害の子どもは多くは適切な指導と対応によって青年期（高校生）で見違えるように成長していきます。そのためには、周囲の大人の発達障害に対する理解と適切な関わりが鍵になります。保護者の希望によって、学校や医療との連携も行います。

## ② 大津市子ども・若者総合相談窓口 (大津市社会福祉協議会)



住 所 | 大津市浜大津4丁目1番1号 明日都浜大津5階

最 寄 り 駅 | 京阪びわ湖浜大津駅 徒歩2分

代表責任者 | 社会福祉法人 大津市社会福祉協議会 会長 竹内 俊彦

電 話 番 号 | 077-526-5316

F A X | 077-521-0207

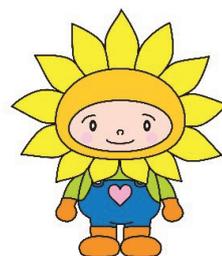
E - m a i l | kowaka@otsu-shakyo.or.jp

U R L | <https://www.otsu-shakyo.or.jp/>

参加対象者 | 大津市にお住いの子ども・若者(15歳～)、ご家族など

活 動 日 時 | 月～金 9:00～17:00 ※土日祝、年末年始は除く

参 加 費 | 無料



社会福祉法人  
大津市社会福祉協議会

### 活動内容・施設や活動の雰囲気

「学校に行きたくない」「仕事が続かない」「子どもの将来が不安」など、子どもから若者の相談窓口を開設しています。内容に応じて必要な支援を行ったり、他機関と連携し支援を行ったりします。お気軽にご相談ください。

### スタッフ紹介

相談員4名(社会福祉士3名 相談経験3年以上1名)

話しやすい雰囲気づくりを心掛けています。

### メッセージ

初めての相談はとても緊張しますよね。相談室は明るいので、場所はわかりにくいですが、声はかけやすいと思います。訪問などで不在にすることがあるので、来所の際は一度お電話ください。一緒に元気になるきっかけ探しのお手伝いをします。

### 3 社会福祉法人小鳩会 こばと子ども家庭支援センター



住 所 | 大津市錦織1丁目14-25 (本体施設)  
大津市錦織1丁目10-22 (センター分室)

最 寄 り 駅 | 京阪石山坂本線 近江神宮前駅より徒歩7分。JR湖西線 大津京駅より徒歩20分

代表責任者 | センター長 山本 朝美 (やまもと あさみ)

電 話 番 号 | 077-522-2910

F A X | 077-522-2910

E - m a i l | smile@kobatokai.or.jp

U R L | http://kobatokai.or.jp

参加対象者 | お問合せください。

活 動 日 時 | 個々の希望に合わせています。お問合せください。

参 加 費 | 無料です。

#### 活動内容・施設や活動の雰囲気

こばと子ども家庭支援センターは、児童福祉法第44条の2に定められた施設です。子どもとその家族のための相談支援機関として様々な支援活動を行っています。敷地内には乳児院と児童養護施設が併設されています。

当センターでは学校に行きにくい子どもたち向けの決まったプログラムはありませんが、一人ひとりのニーズに合わせてできることを一緒に考え、一緒に取り組みます。

#### スタッフ紹介

6名のスタッフが勤務しています。年齢も専門分野も様々ですが、スタッフ全員で知恵を出し合いながら取り組んでいます。また助産師が勤務しており、思春期の子どもや女性の健康に関する悩み、相談も可能です。

#### メッセージ

これまでの利用者数は少ないですが、だからこそじっくり話を聴いて一緒に考えることができます。当センターを利用される方から「ここに来るとほっとするねんなあ」と言われることがあります。私たち職員は利用される皆さんにとって「ほっとできる場所」でありたいと考え活動しています。“わたしだけ”の過ごし方で、ホッと一息休憩しませんか？

## 4 フリールームえこ〜 (ひきこもり、不登校、問題行動等相談窓口)



住 所 | 大津市中庄1丁目15番23号  
最 寄 り 駅 | 京阪石坂線 中ノ庄駅 徒歩2分 いたう呉服店の隣の事務所  
代表責任者 | 一般社団法人 えこー 代表理事 伊藤 茂 (いとうしげる)  
電 話 番 号 | 090-4298-9689  
F A X | 077-521-6006  
E - m a i l | ekou0611amaneku@yahoo.co.jp  
参加対象者 | 特にありません。まずはお問合せください。  
活 動 日 時 | 毎週水曜日・日曜日 13時~15時 (要予約)  
参 加 費 | 無料



えこーのキャラクター  
えこちゃん

### 活動内容・施設や活動の雰囲気

毎週水曜日と日曜日の13時~15時まで開室しています。ひきこもりや不登校、問題行動等のご家族やご本人のお悩みをお聞きします。(ご近所の方や親せきの方からの発信も可)  
お聴きた相談内容に適したいくつかの支援機関に連絡し面談日を決め、支援機関へえこーも同行し、相談者さんと一緒に面談を行います。(以後の面談も同行します。)えこーでの面談も定期的に行い、支援機関との面談も続け、相談者さんにご本人への寄り添いと支援を継続していきます。(既に支援機関と繋がっておられる方もお受けします。)

### スタッフ紹介

えこーの職員・男性2人(まったり系と昭和のアナログ系)と女性1人(おっとり系)の3人がスタッフです。相談は常に2人のスタッフが受けています。3人とも同じ和太鼓の会の仲間です。決してあきらめない、ねばり強さが信条です。

### メッセージ

フリールームえこ〜は、ひきこもり、不登校、問題行動等でお困り、お悩みのご家族やご本人の相談を受けています。これからのことを考える前に、今困っていること、今できることを一緒に考えます。ひとりで抱え込まず、【つなぐ∞つながる】ことで、孤立や不安を解消し、問題改善・解決の方向へと進んでいけることを目標に寄り添うルームです。相談が入っていない時は、サロンとして自由にご利用いただいております。

# 教育機会確保法って知ってる？



通称「教育機会確保法、をご存じでしょうか？

正式名は「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律、と言います。2016年に成立したこの法律では、すべての子どもが安心して教育を受けられるよう学校における環境の確保が行われることや、不登校の子の状況に応じた必要な支援が行われるようにすることなどが明記されています。

この法律に基づいて、文部科学省では、2019年10月25日付で「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」という通達を、各都道府県教育委員会、各指定都市教育委員会、各都道府県知事ほか関係者に対して通知しました。その通達では、次のようなことが書かれています。（一部抜粋）



- 不登校の子への支援は、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、その子が自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立することを目指す必要があること。
- 子ども一人一人の状況に応じて、それぞれの可能性を伸ばせるよう本人の希望を尊重したうえで、教育支援センターや不登校特例校、フリースクールなどの民間施設、ICT（オンライン学習教材）を活用した学習支援など多様な教育機会を確保する必要があること。また、夜間中学において、本人の希望を尊重したうえで受入れ可能であること。フリースクールなどの民間施設やNPO等と積極的に連携してお互いに協力すること。また、指導要録上の出席扱いについては、一定の要件を満たす場合には出席扱いをすることができ、これにより、子どもが社会的自立に向け懸命に努力していることを学校として評価・支援することが大事であること。
- 家庭と学校、関係機関の連携が必要不可欠であること。保護者との信頼関係を作ることや、保護者への支援等、気軽に相談できる体制を整えること。
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携、協力を進めること。
- 教育委員会は、積極的に、福祉・保健・医療・労働部局等とのコーディネーターとしての役割を果たす必要があり、各学校が関係機関と連携しやすい体制を構築する必要があること。また、教育支援センター等が関係機関や民間施設等と連携し、不登校児童生徒やその保護者を支援するネットワークを整備することが必要であること。

大津市では、オンライン学習教材「eライブラリ」が導入されていて、無料で利用することができます。在宅で過ごすお子さんが「勉強したいなあ」と思ったとき、気軽に取り組めるツールとして頭の片隅に置いておいても良いかもしれませんね。

大切なことは、どんな方向であれ、お子さん自身が「自分が望む方向へ進んでいける」と思えることではないでしょうか。そのために、お子さん自身の思いをよく確認したうえで、その子が納得する環境を用意していくことが、これからますます求められると思います。





# 居場所

「居場所」とは、主に不登校やひきこもりなどの生きづらさを抱えている子どもを対象とした家や学校以外の通える場所のことです。家以外にも心がホッと安心できる場所があること、信頼できる人がいること、独りぼっちじゃないことを知ること。そんな最初の第一歩となる居場所です。

## 5 特定非営利活動法人 あめんど



住 所 | 滋賀県大津市野郷原2丁目3-7

最寄り駅 | 琵琶湖線石山駅から徒歩30分  
京阪唐橋前駅から徒歩20分

代表責任者 | 恒松 睦美 (つねまつ むつみ)

電話番号 | 077-532-3681

F A X | 077-532-3681

E - m a i l | amendo\_majakka@yahoo.co.jp

U R L | <http://npo-amendo.org/> <https://amendo.shiga-saku.net/>

参加対象者 | 特に制限はありません。ご不明な点がございましたら、ご相談ください。

活動日時 | 平日 午前10時から午後5時ごろ 土日祝日に不定期のイベント その他応相談

参加費 | 参加、利用の内容により変わります。詳しくはお尋ねください。



### 活動内容・施設や活動の雰囲気

NPOあめんどは、大津市瀬田地域の静かな住宅街の中にあります。公共交通のアクセスはあまり便利ではありませんが、駐車場があります。裏には畑があり野菜を栽培しています。1階は明るくて広いスペース、2階は収穫した野菜を加工したりお菓子やお弁当を作ったりする作業場や、小さな部屋もあります。

個別に思い思いの過ごし方をすることもできますし、少人数からときにはにぎやかに、食事をしたり、ボードやカードのゲーム、絵画や工作、軽い運動をしたりできます。

### スタッフ紹介

NPOあめんどには、さまざまな経験やスキルをもった、若手からベテランまで、懐の深いスタッフが揃っています。ピアサポーターやボランティアも充実しています。困ったときに相談のできる頼りになる仲間がいれば、一人で悩むこともありません。

### メッセージ

NPOあめんどのモットーは、「親が安心、子ども安心」です。子どもにとって解決しなければならぬ課題があるとしても、取り巻く環境、親や大人たちが安定していなければ、子どもを支えることはできません。価値観や生活の仕方が大きく変動する社会の中で、子どもたちは次の大人になっていきます。あめんどでは、個別の支援から始めて、社会や将来まで視野に入れ、支援の輪が循環していくようなはたらきを実現していきたいと考えます。

## 6 くりえいとらぼ



住 所 | 大津市大將軍 (代表個人宅)

最 寄 り 駅 | JR瀬田駅 徒歩14分

代表責任者 | 梅田 育枝 (うめだ いくえ)

電 話 番 号 | 090-2935-3546

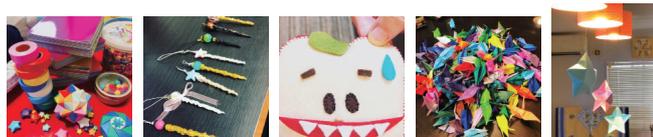
E - m a i l | ichico120@gmail.com

U R L | Facebook 検索ワード「くりえいとらぼ」 インスタグラム検索ワード「9lieitolabo」

参加対象者 | もの作りのお好きな方ならどなたでも。ただし、猫アレルギーの方だけご遠慮下さい。

活 動 日 時 | 第一土曜が多いですが変更もありますのでお問い合わせください。

参 加 費 | 500円



### 活動内容・施設や活動の雰囲気

月に一回、自宅で手芸や工作に没頭できる時間と空間を提供しています。学校になじめない子の中には一つのこと「じっくり」「ゆっくり」取り組みたい子や、芸術の分野に長けたお子さんが多くいるように思います。同じ空間でもものづくりを通して「じっくり没頭出来る安心感」や気が散りがちな自宅では味わえない「湧き出る創作活力」、みんなでやるからこそ味わえる「一体感の集中」を味わって日々の活力にして頂けたらと思います。学年を超えたものづくり仲間巡りに巡り合えるかもしれません。

### スタッフ紹介

梅田育枝 キッズダンスBEATBOXアシスタント講師/放課後デイサービスあした場 ダンス講師/NPO法人D.Live不登校連続講座受講/娘の不登校・ひきこもりの経験を活かし、子どもたちが当たり前自分の色を輝かすことの出来る未来のために活動中!

### メッセージ

感性の鋭い芸術肌のお子さんや、一つのことを極めたい職人気質のお子さんにとって、日本のスクールライフは過酷に感じることもあるかもしれません。スクールライフがうまくいくことではなく「自立」こそが子育てのゴール。お子さんの「好きなこと」「得意なこと」を育てる場所の一つに『くりえいとらぼ』をぜひご活用下さい!ものづくりでこそ輝ける!そんな仲間集って欲しい。おやつもご用意してお待ちしています。

## 7 NPO法人こどもソーシャルワークセンター



住 所 | 滋賀県大津市観音寺9-8

最 寄 り 駅 | 京阪電車 三井寺駅 徒歩5分

代表責任者 | 幸重 忠孝 (ゆきしげ ただたか)

電 話 番 号 | 077-575-4378

E - m a i l | office@cswc2016.jp

U R L | <http://cswc2016.jp>

参加対象者 | 小学生～20代の若者

活 動 日 時 | 毎日行っていますが曜日や時間帯で活動内容が異なるためお問い合わせください。

参 加 費 | 無料



### 活動内容・施設や活動の雰囲気

3人以下の少人数のケア型の居場所活動を週5回とみんなで集まる（10人前後）子ども食堂を週2回行っています。（子どもたちは基本、週1～2回の利用です。）ごく普通の一軒家をお借りして活動を行っていますので家庭的な雰囲気の中で過ごすことが出来ます。活動にきまりは無く、ボランティアさんと公園で外遊びやスポーツをしたり、ゲームなどの遊びやギターやピアノを弾いたり宿題をしたり、一緒にお買い物に行きご飯を作ったりと子どもたちがやりたいことをして過ごしています。

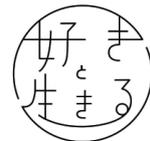
### スタッフ紹介

職員は代表を含めた4名と有償のパートスタッフが10名程度います。社会福祉士や保育士、児童館での勤務経験のあるスタッフが常に1名以上は常駐しています。ボランティアさんは学生から社会人の方まで様々なお仕事や勉強をされている方が60名近くいます。

### メッセージ

学校でも家庭でもない「第三の居場所」として活動を行っています。当法人には「これをしなさい」といったものではなく、子どもたちが安全と安心を感じながら、なるべく自由にしたいことをして過ごしています。「楽しかった」「また来たい」と思える様な居場所でありたいと思っています。様々なしんどさや悩みを抱えている子どもたちや保護者の方の力になればと思っています。

## 8 NPO法人 好きと生きる 不登校の子ども達の居場所 にじっこ



住 所 | 大津市・近江八幡市・米原市・長浜市で開催 お問合せください。

代表責任者 | 林 智子 (はやし ともこ)

電話 番号 | 090-4769-0521

E - m a i l | a.chan.no.niji@gmail.com

U R L | <http://sukitoikiru.com/>  
検索ワード「好きと生きる」

参加対象者 | 小学生・中学生・高校生

活 動 日 時 | 月8回、滋賀県内各地で開催。  
ラインアットで詳細を告知。

参 加 費 | 参加費一人1000円/回



### 活動内容・施設や活動の雰囲気

にじっこにはプログラムはなく、それぞれ自由に好きな過ごし方をしています。会場によって雰囲気は違いますが、鬼ごっこやボードゲームなど遊びは様々で持ち込みも自由です。森や農園で過ごしたり、農業体験・遠足などにも出かけています。中高生のみの日や夜開催・合宿など可能な限り子ども達の要望にも応えています。申し込み制ですが、当日申し込みやキャンセルもOKで、送迎してもらえれば他地域への参加もOKです。また、同会場にて親の会もコラボ開催しており、保護者のみなさんの交流の場にもなっています。

### スタッフ紹介

見守り隊という遊ぶのが大好きな面白い大人達が数名一緒に過ごしていますが、逆に子ども達に見守られていて、いつも子ども達から元気もらっています。強制や指示をすることはなく、いつも笑顔で穏やかに子ども達の隣にいるメンバーばかりです。

### メッセージ

自分のことを信じて認めてくれる大人がいる、安心して過ごせる場がある、そう思えた時初めて、自分自身を認め好きになれるのだと思います。子ども達一人一人が自分にとって心地いいと思える場や人とひとつでも多く出逢い、生き生きと幸せに生きてほしい。その選択肢のひとつとなれるよう、にじっこを開催しています。この世にダメな子は一人もいません。もし、平日の日中の居場所を求めている子ども達がいたら、お気軽にご連絡くださいね。

## 9 びわフリ ～びわ湖フリーわいわい



住所 | 〒520-0043 大津市皇子が丘1-1-1  
(皇子が丘公園体育館)

最寄り駅 | 京阪電車 京阪大津京駅徒歩すぐ。  
JR湖西線 大津京駅徒歩10分

代表責任者 | 大町 航也 (おおまち こうや)

電話番号 | 090-7555-5176

E-mail | biwafree@gmail.com

URL | <https://www.biwafree.com> “びわフリ”で検索!

参加対象者 | お子さんの不登校・行きしぶりで悩まれている方。  
学校外の学び場や居場所をお探しの方。

活動日時 | 月に一度、土日祝不定期開催。  
詳細はホームページにてご確認ください。

参加費 | 大人おひとり500円。 こども無料



### 活動内容・施設や活動の雰囲気

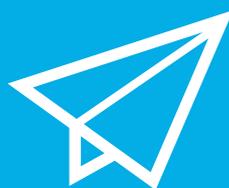
原則として月一回(土日または祝)、大津市の皇子が丘公園体育館または大津公民館で開催しています。びわフリは、プログラムもメンバー制もありません。広々とした場所で自由にお過ごしください。(活動例) カードゲーム、卓球、野球、クイズ大会、大画面スマブラ、紙コップ遊び、将棋、ドッジビー、大縄跳び、バドミントン、シールアート、お絵かき、折り紙、工作、ピアノ演奏、ウクレレ演奏、手芸、だるまさんがころんだ、おしゃべり、昼寝、読書、その他ゲーム機等持ち込み可。フリードリンク、フリーおやつ。

### スタッフ紹介

ボランティアによるサポーター数名。普段から子どもと関わる活動をされている方を中心に、高校生・大学生など。あえて参加者とサポーターの区別はつけずに、お互いの関係性から生まれる心地よさを大切にしています。

### メッセージ

びわフリは、学校以外の場所で学び育つ子どもと親のあそび&おしゃべりの場です。世話人は、子どもが不登校になったとき、まずはお家が安心して過ごせる場所であることが大切だと考えています。そのためには、まずは親が孤立せず安心して過ごせることも重要だと考えています。親御さんののみのご参加も大歓迎。どうぞお気軽に遊びに来てくださいね。



## フリースクール オルタナティブスクール

フリースクールは、不登校の子どもの居場所、自由な学び場、交流の場として作られた施設です。個人やNPO法人など民間が運営していることが多く、活動の内容や時間などは施設によって様々です。多くのフリースクールでは子どもが主体となり遊びや勉強など本人のペースで進めることができます。

また、オルタナティブスクールは不登校の子の受け皿としてではなく、オルタナティブ教育（代替教育）という独自の理念を取り入れた学校で、子どもの自主性を重視した教育が行われることが多いです。例として、シュタイナー学校やイエナプランスクールなどがあります。

学習指導や進路指導に対応しているところが居場所との大きなちがいかもかもしれませんね。

## 10 Free School シャローム学園

shalom



住 所 | 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜8-11-108

最寄り駅 | 京阪石坂線 膳所駅から徒歩10分

代表責任者 | 衣斐 陽子 (いび ようこ)

電話番号 | 080-3845-2318

F A X | 077-524-3395

E - m a i l | shalomgakuen@gmail.com

U R L | <https://shalomgakuen.localinfo.jp/>

参加対象者 | 詳細はホームページをご覧ください。

活動日時 | 詳細はホームページをご覧ください。

参加費 | 詳細はホームページをご覧ください。

### 活動内容・施設や活動の雰囲気

併設の学習塾にて、週2回の学習支援を行っています。ご本人のペースに合わせた進度で行います。月に1~4回程度、活動を行います。川遊びをしたり、スポッチャで体を動かしたり、お寺や美術館や動物園など、様々なところに出かけます。

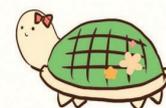
### スタッフ紹介

代表は、看護師・保育士・各種カウンセリング資格を保有しております。発達障害についても学んでおり、安心できる環境の中で、一人一人の良いところを伸ばすことが大切だと考えております。

### メッセージ

当フリースクールは、併設している塾で、学習支援をしています。小学生の時の学習は、生活の中でも必要なものが多いです。プリント学習だけでなく、タブレットや、興味のある物を利用して、学んでいく楽しさを知ってもらえたらと考えています。学校とも連携しています。社会活動は、運動不足になりがちな体を動かし、楽しみながら色々なことを発見して、皆様が素敵な笑顔になる活動です。

## 11 適応教育教室 ハーフステップ



住 所 | 〒520-2144 大津市大萱1丁目18-14 (本郷ビル3階)

最寄り駅 | JR琵琶湖線 瀬田駅徒歩3分

代表責任者 | 尾木 雅和 (おぎ まさかず)

電話番号 | 077-543-8565

F A X | 077-543-8565

E - m a i l | lhoujin63@gmail.com

U R L | <https://ihoujin.crayonsite.net/>

参加対象者 | 大津市の不登校児 (発達障がい児) 小学生～高校生

活動日時 | 月～土10時～15時 (昼夜逆転の場合相談可)

参加費 | 400円 (大津市の日中一時支援の場合) \*詳細はお問合せください。



### 活動内容・施設や活動の雰囲気

学習支援 (提出物の完成・定期テスト対策)

創作活動 (絵画・アイロンビーズ・小説創作)

体験活動 (高校・大学見学・将棋・オセロ・トランプ・UNO)

個別相談 (カウンセリング・プレイセラピー)

JR琵琶湖線の電車が窓から見え、ゆったりとくつろげるスペースもあります。一人一人の個性、特性に合わせた学習支援を行っており、アットホームな雰囲気となっています。

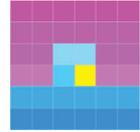
### スタッフ紹介

臨床心理士・養護教諭・社会福祉主事任用資格・教育カウンセラーの4名が日中の支援にあたります。長期休暇中は大学生や他のスタッフなども支援にあたります。

### メッセージ

発達障がい児の不登校の利用者が多いですが、そうでない不登校の方の利用もあります。学力の低下をなくしたり、居場所をつくる活動もしています。進路相談だけでもどうぞお越しください。

## 12 大津オルタナティブスクール TRIUMPH～トライアンフ～



住所 | 〒520-0043 大津市中央1丁目8-13 大津百町館（丸屋町商店街内）

最寄り駅 | 京阪びわ湖浜大津駅徒歩7分、JR大津駅徒歩12分

代表責任者 | 一般社団法人 異才ネットワーク 谷川 知（たにかわ とも）

電話番号 | 050-5374-0311

F A X | 077-535-7754

E - m a i l | school@alterna-triumph.com

U R L | www.alterna-triumph.com  
https://www.facebook.com/isai.triumph

参加対象者 | 不登校、行き渋りのある小学生～高校生

活動日時 | 毎週水曜日・金曜日 10時～13時。その他イベントもあります。

参加費 | 入会金 15000円  
お月謝【週1回】小学生 14000円、中学生 16000円、高校生以上 18000円  
【スポット利用】小学生 4000円、中学生 4500円、高校生 5000円  
週2回以上はお問い合わせください。



### 活動内容・施設や活動の雰囲気

オランダのイエナプランを取り入れ、子どもとの対話を重視し、好きなことや得意なことを追求します。築120年のゆったりとした大津の町家で安心して過ごし、子どもが本来持っている学びたい気持ちをひきだし、地域の方々と触れ合いながら社会性を育てます。カードゲームをしたり、クッキングや勉強、子どもの興味に合わせたフィールドワークを行います。月に1回のヨガ教室や実践型の学びの場としてカフェの運営も体験できます。学校や家庭とは違う第3の居場所としてご活用ください。在籍校に出席認定申請も致します。

### スタッフ紹介

教育カウンセラーや教員免許、社会福祉士の資格をもつ女性スタッフ2名が常駐しています。また、キャリアコンサルタント（国家資格）をもつEQ/SEL（こころの知能）の専門家スタッフや、ギフトッド・2E親の会を運営し家庭教師歴10年の女性スタッフもいます。その他にも、地域のボランティアさんが支えています。

### メッセージ

学校でもたくさんの学びがありますが、どうしても集団にフィットせず、自分の好きなことで学びを追求したいお子様はぜひご相談下さい。学校と力を合わせ、お子様の学びや社会的自立への歩みをサポート致します。当スクールを利用しながら、在籍校へ通学されているお子様もおられます。個別学習支援「異学舎」もごございますので、1対1の関わりや進学のための学習指導をご希望の方はご相談ください。また親の会 WAKUWAKU も不定期で開催しています。

## 13 NPO法人D.Live「昼TRY部」滋賀校

部  
TRY部



住所 | 〒520-2144 滋賀県大津市大萱1丁目9-7  
ワイエムビル202号室

最寄り駅 | JR琵琶湖線 瀬田駅 徒歩5分

代表責任者 | 田中 洋輔 (たなか ようすけ)

E-mail | info@d-live.jp

URL | <http://www.d-live.jp/> <https://www.facebook.com/NPO.D.Live>  
[https://www.youtube.com/channel/UC6uS5RJgIU-\\_ZZ6VzVPWUkw](https://www.youtube.com/channel/UC6uS5RJgIU-_ZZ6VzVPWUkw)

参加対象者 | 小学校5年生～高校3年生

活動日時 | 毎週月・水・木曜 10:00～13:00 毎週金曜 11:00～14:00

参加費 | (お月謝) 週1回 小学生10,000円 中学生15,000円 高校生15,000円  
週2回 小学生20,000円 中学生25,000円 高校生25,000円  
週3回 小学生25,000円 中学生30,000円 高校生30,000円  
入会金 30,000円



### 活動内容・施設や活動の雰囲気

滋賀県大津市と京都市にてフリースクール「昼TRY部」を運営しています。  
滋賀校では年齢関係なく、スタッフ(大人)も交えてカタンなどのボードゲームを中心に活動しています。漢字パズルや数学の問題に頭をひねる日も。常に笑いの絶えない、楽しい時間が過ぎていきます。  
毎週木曜日は午後の時間帯に「eスポーツ部」も運営中(別途お月謝をいただいております)。こちらではスマブラやスプラトゥーン、フォートナイトなどのテレビゲームを「本気で」取り組む中で生徒同士のコミュニケーションを育んでいます。

### スタッフ紹介

代表・副代表を含め、不登校経験者や教員の経験をもつスタッフが多く在籍しています。子どもたち目線で、常に「機嫌よく」関わっています！

### メッセージ

弊団体ではフリースクール事業のほか、ブログやYouTubeなどでの情報発信にも力を入れています。また不登校の保護者の方向けにオンラインサロンも運営しています。こちらは関西に限らず全国からご参加いただいております。こちらに興味のある方もぜひお知らせください。

相談窓口

居場所

フリースクール・オルタナティブスクール

親の会・家族の会

公的相談窓口

## 14 アットスクール膳所教室のフリースクール フォルツァ

芽が育つ、個性が伸びる。  
アットスクール膳所教室



住 所 | 大津市打出浜 14-30 Oh!Me大津テラス4階 アットスクール膳所教室内

最寄り駅 | JR琵琶湖線 膳所、京阪石坂線 京阪膳所 共に徒歩7分

代表責任者 | 佐治 和也 (さじ かずや)

電話番号 | 077-548-7822

F A X | 077-548-7823

E - m a i l | zeze@at-school.jp

U R L | <https://www.at-school.jp/classroom/page/4/>

参加対象者 | 小学生、中学生が中心ですが高校生も可能です。体験会は保護者様も参加可能です。

活動日時 | 毎週木曜日 10:30 ~ 12:00。午後の部や別の曜日も検討中。

参加費 | 月謝 : 9,900円 (月4回、税込)、入会金 : 6,600円 (税込)  
アットスクール会員は入会金無料



### 活動内容・施設や活動の雰囲気

アットスクール膳所教室の多目的室を使用します。学習メニューと遊戯/交流メニューを毎回ご用意していますので、どちらでも好きな方に参加して過ごすことができます。

遊戯/交流メニューでは、アロマや姿勢に関する資格を持つ先生がリフレッシュのコツや健康増進をサポートするほか、各種ボードゲームやカードゲーム等で楽しく過ごします。もちろん、教室備え付けの図書を読みふけていても構いません。

宿題やテスト勉強のお手伝いも出来ますよ。

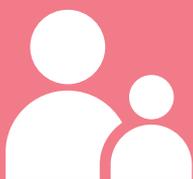
### スタッフ紹介

元システムエンジニアの理系女子でありながら、アロマセラピストであり美姿勢体操のインストラクターも出来るマルチな才能の先生がメイン担当です。

### メッセージ

発達に特性を持つ子ども達の発達支援、学習支援を行うアットスクールが設立したフリースクールです。皆それぞれが違う個性を持つ子ども達に寄り添い、自立の道を手助けすることが私達の目標。フリースクールでも子ども達の心の拠り所となり、思い思いに楽しく過ごせる空間を提供します。是非、お気軽に遊びにお越し下さい。

ご予約いただければ公認心理士による心理相談も承ります。



## 親の会・家族の会

子どもが学校に行かない、行けない、ひきこもっているなどの悩みを共有したり、語り合ったり、情報交換ができる場です。家族や本人との接し方を親同士で語り合うことがメインですが、勉強会や専門家のアドバイスを受けることができる親の会もあります。保護者や支援団体が主催し、月に一回程度開催されることが多いです。

## 15 Will be smile ～不登校から多様な学びを考える親の会@大津



住所 | 〒520-8530 大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津4階ふれあいプラザ

最寄り駅 | 京阪びわ湖浜大津駅から徒歩すぐ。JRびわ湖線大津駅から徒歩15分

代表責任者 | 大町 千恵 (おおまち ちえ)

電話番号 | 090-8216-2007

E-mail | willbeesmile@gmail.com

URL | <https://willbesmile.hateblo.jp>  
"will be smile 大津、で検索！

参加対象者 | お子さんの不登校・行きしぶりで悩まれている方。  
学校外の学び場や居場所をお探しの方。

活動日時 | 月に一度不定期開催。ホームページにてご確認、  
またはメールにてお問い合わせください。

参加費 | 500円



### 活動内容・施設や活動の雰囲気

月に一度、親同士で集う「親カフェ」を開催。集まったメンバーでお茶を飲みつつおしゃべりを楽しんでいます。カウンセラーなど専門のアドバイザーはいません。その代わりに、メンバー同士のフラットな関係の中で対話をする中で、自分自身の中にある答えを探していきます。世話人は、子どもの不登校をきっかけにホームエデュケーションを実践。ご希望があれば、その経験をもとにお話をさせていただくこともできます。また週に一度、午前中にのんびりと、親子でびわ湖の湖岸清掃をしています。保護者さまのみの参加も大歓迎です。

### スタッフ紹介

世話人が1名。世話人は主に会場のセッティングやメンバー間の企画の取りまとめなどを行っています。「不登校」はそもそも問題行動ではないという視点に立っているため、「どうすれば不登校を解決できるか」といったお話はできないかもしれません。当会のメンバー全員が、それぞれの「子育て、の経験や知恵を共有していく場所として運営しています。また、それぞれのメンバーが持つ情報の共有も活発に行っています。みんなで泣いたり笑ったりしながら、知恵を出しあって子育てしよう！ご参加お待ちしております☆

### メッセージ

子どもが学校を休みがちになると、親は不安になってしまうものです。「このまま学校に行かなくて、この子は大丈夫なの？」「学校の先生とは、どう連携していけばいいの？」「家の中でゲームばかりしていて不安、、、」ずっとお家の中で一人で考えていると、心が曇りがちになるもの。よかったら、親カフェにいらっしゃいませんか？ ホットと一息ついて深呼吸したら、少し気持ちが軽くなるかもしれませんよ。一緒に考えていきましょう。

## 16 えこちゃんステーション(エコステ) ひきこもり・不登校家族の会



住 所 | 大津市本丸町6番40号  
最寄り駅 | 京阪石坂線 膳所本町駅 徒歩7分 膳所市民センター  
代表責任者 | 一般社団法人 えこー 代表理事 伊藤 茂 (いとう しげる)  
電話番号 | 090-4298-9689  
F A X | 077-521-6006  
E - m a i l | ekou0611amaneku@yahoo.co.jp  
参加対象者 | ひきこもり・不登校の家族。まずはお問合せください。  
活動日時 | 原則 毎月第4日曜日 13時～17時  
参加費 | 年会費500円、参加費300円



えこーのキャラクター  
えこちゃん

### 活動内容・施設や活動の雰囲気

毎月1回(原則として第4日曜日)、膳所市民センターで開催しています。同じ悩みを持つ者同士のワークショップや勉強会、3～4か月に1回のイベント(外来魚駆除釣り大会、オープン講座、和太鼓を楽しく叩こうなど)の開催を企画しています。意見交換会も行っており、親が安心をして話せる、ほっとできる居場所として、時には子どもと一緒に参加してもらえる親子の居場所です。

### スタッフ紹介

えこーの職員・男性2人(まったり系と昭和のアナログ系)と女性1人(おっとり系)の3人がスタッフです。相談は常に2人のスタッフが受けています。3人とも同じ和太鼓の会の仲間です。決してあきらめない、ねばり強さが信条です。

### メッセージ

エコステでは、ひきこもり・不登校でお困り、お悩みのご家族やご本人が、ひとりで抱え込まないように、家族の会(えこちゃんステーション)を発足しました。「悩みごとを発信し、情報をキャッチできる。」「ひとりで抱え込まず、仲間とともに悩みを改善、解消していく。」居場所です。ご家族、ご本人が同じ悩みを持つ人と【つながりつながる】よりどころとしてご参加下さい。地域限定ではありませんので、大津市以外の方もご参加下さい。

## 17 生きづらさを抱えるギフテッド・2E親の会 「シャイン」



住 所 | 〒520-0043 大津市中央1丁目8-13 大津百町館（丸屋町商店街内）  
オンライン（Zoom）での参加も可

最 寄 り 駅 | 京阪びわ湖浜大津駅徒歩7分、JR大津駅徒歩12分

代表責任者 | 一般社団法人 異才ネットワーク 谷川 知（たにかわ とも）

電 話 番 号 | 050-5374-0311

F A X | 077-535-7754

E - m a i l | info@isai-nw.com

U R L | <https://www.facebook.com/isai.gifted.2e/>

参加対象者 | 生きづらさを抱えるギフテッド、2Eの子どもをもつ保護者。詳細お問合せ下さい。

活 動 日 時 | 2~3か月に1回程度実施しています。お問合せください。

参 加 費 | 1000円



### 活動内容・施設や活動の雰囲気

生きづらさを抱えるギフテッド・2E（ギフテッドと発達障害を併せもつ状態）の子をもつ親の会です。高知能であっても（あるがゆえに）、学校生活にフィットしない、感情の波が大きい、完璧主義や白黒思考、権威を疑い、右に倣えの集団に馴染まない、そんな困り感について共有したり、ギフテッドに関する書籍の読書会により学びを深めます。学校との関わり方や子育てのポイントなど、お互いの経験談を話し合いながら、子どもが日常生活をよりよく生きていくために様々な情報を交換する場です。築120年の大津の町家で、なかなか人には話しにくい悩みや困りごとを話してみませんか？ Zoomでの参加も可。

### スタッフ紹介

自身の子がギフテッド傾向である女性スタッフが運営しています。  
教育カウンセラー、日本LD学会所属。発達障害やギフテッド・2Eにも理解があり、オルタナティブスクール運営もしています。

### メッセージ

自身の子がギフテッド・2Eであり、不登校の親としての経験があるスタッフが運営しています。当事者にしか分からない気持ちをシェアしながら、育てづらい特性のある子どもが健全に育つよう学び合う場となれるようにと願っています。IQの高さだけではなく、ギフテッドネスという気質を持ち合わせることは、まだまだ世間には知られておらず、話しにくいことが多いと思います。同じ立場にいる方々と遠慮なく話し合ってみませんか？

## 18 シェアの部屋



住 所 | 大津市大萱2丁目18-31 南大萱会館

最寄り駅 | JR瀬田駅 徒歩3分

代表責任者 | 梅田 育枝 (うめだ いくえ)

電話番号 | 090-2935-3546

E-mail | ichico120@gmail.ne.jp

U R L | Facebookに次の開催告知等しています。Facebook → シェアの部屋  
Instagram → 「sheanohe8」

参加対象者 | どんな方にもご参加頂けます。お子様連れも大歓迎です。

活動日時 | 第二金曜 第二土曜が多いですが、変更の場合もあります。お問い合わせ下さい。

参加費 | 参加費500円/回

### 活動内容・施設や活動の雰囲気

公共施設の和室をお借りし、毎回5名前後の方で和気あいあいとした雰囲気のシェア会をしています。不登校の悩みにこだわらない内容にしています。

初めての参加者の方でもリラックスして頂けるよう、カラダほぐしワーク、自己紹介など交え、毎回テーマを変えてワークをしたりしています。フリースクールもたくさん設けていますので、話し足りない方はそこで好きなだけお話いただけます。

### スタッフ紹介

梅田育枝 キッズダンスBEATBOXアシスタント講師/放課後デイサービスあした場ダンス講師/NPO法人D.Live不登校連続講座受講/娘の不登校・ひきこもりの経験を糧に、日々憂えるお母さんの心を統合し未来をシェアします！

### メッセージ

娘が不登校になり5年以上経ちますが、私が一番辛く苦しかったのは不登校になりかかり～なり立ての頃でした。「誰」に「どのよう」に「どこ」へ相談すればよいのか全くわからない日々でした。『シェアの部屋』は不登校にこだわらないシェア会にしています。学校へ行ける行けない、障がいがあるなしに関わらず子育てに悩みはつきものです。飽和状態の想いを『シェアの部屋』でシェアしませんか？きっと何かが変わりますよ！

## 19 ひまわりんぐ



住 所 | 大津市内 JR石山駅・京阪粟津駅徒歩15分  
個人宅開催のため、参加者様にのみお伝えさせていただきます。

最 寄 り 駅 | JR琵琶湖線 石山駅 京阪粟津駅

代表責任者 | 生杉 知恵 (おいすぎ ちえ)

電 話 番 号 | 090-5050-4600

E - m a i l | himawaring362@gmail.com

U R L | Facebook「ひわまりんぐ」で検索

参加対象者 | 保護者・家族 (お子様の参加はお問合せください。)

活 動 日 時 | 不定期開催 (月2回)

参 加 費 | 300円



### 活動内容・施設や活動の雰囲気

大津市内の個人宅や同時開催をさせてもらう活動場所です。学校に行かない、行きたくない等学校以外の選択をした子供達の子育てをする保護者さんのための居場所です。保護者さんが「自分を責めない」「一人で悩まないで」と一緒にお話しませんか?と活動しています。会の中で会う参加者さんたちのお話がお互いのヒントになればいいなと思っています。お茶会、HSC (ひといちばい敏感な子) 勉強会なども開催しています。(詳細はFacebookやメールでご確認ください。)

### スタッフ紹介

常にいるのは代表の生杉ですが、参加してくださっている方たちが自分たちのお話をしてくださることでお手伝いしてくださっていると思います。  
敏感な子たちのお話をきいて相談もお受けしています。

### メッセージ

どなたでも気軽に参加してくださいね。  
100人いれば100通りの子育てであるように、正解も不正解もないって思っています。今のあなたでいいんだよって丸ごと受け止めてもらえるといいなと思います。今できるスモールステップになるヒント探しをしに行きませんか?あなたと同じ思いで寄り添い一緒にお話できたらいいなと思っています。出会えることを楽しみにしています。

# 医療・保健・福祉・ 教育 公的相談窓口

滋賀県内には、子どもに関わるたくさんの公的相談機関が存在します。ここではすべての機関について紹介することはできませんが、学校への行きづらさを含め、様々な困りごとを抱えるご家庭の保護者やご本人が、初めて公的機関に相談してみようと思われた時に相談しやすい機関をピックアップしています。費用が無料というのも市民にとって何より心強いですね。必要に応じてより適切な機関へつないでくれますので、安心してまずは相談してみてください。

# 滋賀県内で公的相談機関をお探しの方へ

## 大津市子ども家庭相談室

子育てに関する様々な悩みを家庭相談員がお聞きし、共に考えていく中で、そのご家庭にとってよりよい子育てができる方法を見つけ出すお手伝いをしています。また、子育てに関する情報提供やご相談内容に応じて、保健・教育など適切な相談窓口をご紹介します。

住 所：〒520-8575 大津市御陵町3-1 大津市役所 本館3階  
福祉子ども部 子ども家庭課 子ども家庭相談室

電話番号：077-528-2688

受付時間：平日9:00～17:00

## 滋賀県心の教育相談センター

こちらは、不登校に関する専門の相談機関です。電話相談や来所相談により、不安や悩みの軽減を図りながら、学校復帰や社会参加と自立をめざして、カウンセラー（公認心理師・臨床心理士）による相談を行っています。原則として幼児および市町立小中学校の児童生徒の相談については、電話による相談のみです。

住 所：〒520-2321 滋賀県野洲市北桜（滋賀県総合教育センター内）

電話番号：077-586-8125

受付時間：月～金曜日 10:30～12:30 13:30～16:30



## 滋賀県子ども・若者総合相談窓口／滋賀県ひきこもり支援センター (滋賀県立精神保健福祉センター内)

子ども・若者（小学生～39歳）の様々な悩みに関するご相談、15歳以上のひきこもり状態にある方のご相談が対象です。精神保健の専門性を活かし、ご本人やご家族の悩み事の解決に最も適した関係機関と連携しながら問題の解決をサポートします。ご本人向けのグループ活動やご家族向けの学習会も開催しています。

住 所：〒525-0072 滋賀県草津市笠山8丁目4-25 滋賀県立精神保健福祉センター

電話番号：077-567-5058

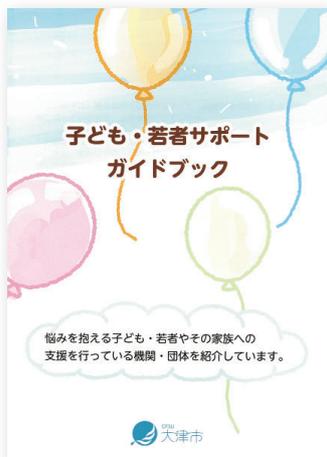
受付時間：平日9:00～16:00

登校していない小中学生が、学校に籍を置いたまま通える小集団の教室（**適応指導教室**）や、不登校について相談できる**教育支援センター**（市町によって名称は異なる）という機関もあります。また、ホームスタディをサポートする体制をつくっている自治体もあります。在籍校と連携して、ひとりひとりの状況に合わせて支援しています。滋賀県はすべての市町に設置されています。詳しくは在籍校や教育委員会にお問合せください。



## 医療・保健・福祉・教育分野の 公的相談機関等をさらにお探しの方へ

### 大津市 文化・青少年課発行 「子ども・若者サポートガイドブック」



大津市内の公的相談機関や居場所、就労支援事業所などが紹介されているガイドブックです。  
当サポートブックには掲載されていない公的機関の情報がたくさん！



手に入る場所…大津市役所 文化・青少年課  
大津市子ども・若者総合相談窓口  
(大津市社会福祉協議会)



この『育ちと学びのサポートブック』の対象年齢よりも少し高めの中高一貫～若者支援の公的な情報が満載です！中学校卒業後自宅にいる子ども、高校や大学を中退した子ども若者などがいるご家庭にはぜひ手に入れていただきたい一冊です！

### びわころネット

びわころネットは、子どもの心の健康を支える「支援ネットワーク」構築の場となることを目的に滋賀県と滋賀医科大学精神医学講座・小児科学講座の協力のもと立ち上げられました。様々な心の問題に悩む方々を支援するために、主に支援者に向けて大きく3つの取り組みを行っています。

- 1) 専門家の育成
- 2) 医療機関・教育・保健・福祉の各分野の連携促進
- 3) 心の問題の理解促進



### びわころネット

<https://biwakoro-net.jp/>

検索

医療機関をお探しの方は、ホームページから **支援機関MAP** のページをのぞいてみてください。  
また、初めから専門病院を受診するのではなく、かかりつけのドクターに一度診ていただき、適切な医療機関等につないでいただくのもよいかもしれませんね。



お子様の症状に合わせて滋賀県内の医療機関や支援機関を検索することができますよ。受診するか判断に悩む場合は、まずは相談機関に相談されるのをオススメします。



# 全国規模の民間団体

(親の会・相談窓口・居場所等オンライン参加可)

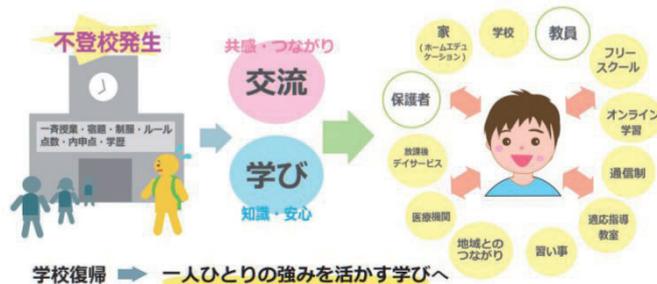
## イクミナル

イクミナルさんは、主に学校生活や勉強面でS.O.Sを発しているお子さんの家庭同士がつながる交流会や相談会をオンラインで行っています。自分らしく学びを楽しみ、自律することを応援するために、家庭・地域・学校の協働と、専門家と家庭の円滑なつながり作り（まなび環境のコーディネーション）の良好化を目指して実践・研究を重ねています。蓄積されたデータから、現状にあった具体的な方法を聴くことができます。スタッフの方々はとても気さくで、丁寧に子どもの学び環境へのアドバイスをくださいます。

## イクミナル

ikuminal

### イクミナルの考える、学びのコーディネーション



リンク <http://ikuminal.com/wptop/>  
Email [ikuminal.info@gmail.com](mailto:ikuminal.info@gmail.com)



## 多様な学びプロジェクト

多様な学びプロジェクトさんは、誰ひとり取り残されない社会を目指して、全ての学校以外で育つ子が安心して豊かに育つことが出来る環境を整えるための活動をしています。保護者や支援者向けオンライン講座、子どもたちの繋がりや学びをサポートする子ども向けオンラインサロン・オンライン講座、保護者同士や保護者と支援者を繋ぐ大人向けオンラインサロンなどを開催。親も子も安心して、ご自宅から学びと交流に参加できます。また、ホームページ上では安心して繋がれる全国350か所以上の地域の居場所（とまり木）を無料で検索できます。



リンク <https://www.tayoumanabi.com/>  
Email [futuredesign15@gmail.com](mailto:futuredesign15@gmail.com)



## ホームエデュケーションとは？

お子さん自身がフリースクール等の活用を求めないときは、在宅で学び育つことを肯定的にサポートする「ホームエデュケーション」という方法もありますよ。お子さんの「今」を肯定してサポートしていくことは、自尊感情を育む上でもとても重要です。まずは、お子さんが今、何を必要としているのかを聞いてみてくださいね。親子や兄弟姉妹との関係性・地域の人や社会資源とのつながりを活用することで、社会性も育っていきますよ。

## ホームシュール

ホームシュールさんは、家庭を基盤として学び・成長する子どもとその家族のための専門支援機関です。全国的なホームエデュケーションネットワークでもあり、居住地を問わず参加することができます。ホームシュールさんでは会員どうしの「つながり」を大切に考えて、会員専用の SNS、月刊交流誌、各地のサロン、オフ会、全国合宿、相談などの活動をされています。また、保護者にも専用の HP、月刊情報交流誌等多様な交流活動のチャンネルを用意されています。



ホームシュール

# HOME SHURE

特定非営利活動法人

東京シュール

リンク <http://www.homeshure.jp/>  
Email [home@shure.or.jp](mailto:home@shure.or.jp)



## まなびバ！シリウス

群馬県館林市にある築 100 年の蔵を活用し、学校があわない子どもたちに居場所や学び場を提供しています。2020 年 9 月から、館林市教育委員会委託オンラインフリースクール事業を開始。全国どこからでも無料で参加できます。一緒にお勉強したり、絵を描いたり、時にはクッキングも！代表の安楽岡さんは以前小学校の教員をされていて、とっても優しい笑顔で、明るくて話しやすいですよ。保護者の会もされています。

リンク <https://manavivasirius.wixsite.com/sirius>  
Email [manavivasirius@gmail.com](mailto:manavivasirius@gmail.com)



新型コロナウイルスの影響で外出することが難しかったり、まずは自宅を拠点に相談先を探したりしたい場合は、オンラインで参加できるこのような場は助かりますね。ここに掲載されている団体さんの開催する活動は、どれも実際に当プロジェクトのスタッフが参加したことがあったり、お話をしたりしたことがある方が運営されています。安心して、まずはホームページなどをじっくりのぞいてみてください。





## おわりに

毎年、不登校生の人数が文部科学省から発表されていることをご存じでしょうか。

2020年の発表によると、小中学校における2019年度の不登校児童生徒数は18万人以上にのぼることが判明しました。内訳としては、小学生で約53,000人、割合にすると0.8%（120人に1人）が、中学生で約128,000人、割合にすると3.9%（25人に1人）が、不登校状態にあります。また、2013年度以降、小中学校における不登校の児童生徒数は年々増加しています。

そんな中、2016年12月には「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」が成立しました。この法律により、国及び地方公共団体は、個々の不登校児童生徒の休養の必要性を踏まえ、その子の状況に応じた学習活動が行われるよう、必要な情報の提供、助言、その他の支援を行うために必要な措置を講ずることが定められました。

長年、不登校は問題行動とされ、学校復帰を求める政策と「子どもは学校に行って当たり前」という社会通念の中、子ども本人が、強い自責感や罪悪感を持ち、そのため自己肯定感も持ちにくく、その後の人生を歩きにくくなったり、学校を休むという選択を取れずに長期休暇明けに自死を選んだりという弊害も生んできました。

そんな「不登校」の子どもたちが、安心できる環境に身を置き、信頼できる大人や仲間と出会い、個性やペースを尊重され、この自分が大切と思え、やりたい活動ができていけば、それぞれに進路を作り自立への道を歩む。この法律は、日々の関わりを通して、子ども達のこういった変化を見てきたフリースクール関係者による「フリースクールからの政策提言」に端を発し、長年の議論と準備を経て成立しました。

私たちは、この「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」に則り、また日本国憲法に掲げられている基本的人権と教育を受ける権利の理念に則り、不登校の子が、地域の中でいろんな人の温かいまなざしに支えられながら、自立に向けて健やかに学び育っていける環境作りに役立つことを願って、このハンドブックを作成しました。

ハンドブック作成にあたって、保護者の皆さんによるアンケート協力を始めとして、公的機関、医療機関、民間支援団体、天津市社会福祉協議会等たくさんの方にご協力いただきました。また、NPO法人フリースクールみなも様（大阪府）には、当ハンドブックを作成するために多大なるご指導をいただきました。深く感謝申し上げます。

このタネがしっかりと根を張って、全ての子どもたちの希望となりますように。

おうみ子ども・若者未来のタネプロジェクトスタッフ一同

【参考図書】フリースクール全国ネットワーク・多様な学び保障法を実現する会編（2017年）  
『教育機会確保法の誕生 子どもが安心して学び育つ』東京シュール出版より一部引用



# このハンドブックの存在を ぜひ広めてください！

知り合いの子や近隣の子が学校に行きにくいようだ、活動の趣旨に賛同できるのでブログなどでこの冊子を紹介してみようと思われた方、ひとりでも多くの困っている子どもやご家庭にこの情報が届くよう、ぜひハンドブックの存在を広めてください。

## おうみ子ども・若者未来のタネプロジェクトとは

不登校（またはその傾向）・ひきこもり状態にある子ども家庭が孤立せず、子どもが健やかに成長できるように、学校以外でも教育の機会や心の拠り所が確保されるよう子ども家庭支援を行う民間情報を集め、提供することを目的として活動しています。今後ハンドブックの周知活動をするとともに、滋賀県内の学校に行きづらい子どもたちを支援する団体のネットワークづくりも進めていきます。



## 無料ダウンロードできます！

この冊子は、大津市社会福祉協議会のホームページにて無料でダウンロードできるようになっています。



<http://www.otsu-shakyo.or.jp/advice/children-and-young-people/>  
HOME > 相談したい > 子ども・若者総合相談窓口

## 冊子の送付をご希望の方へ

冊子を追加でご希望の方は、返信用封筒（角2）に210円切手を貼り、住所氏名をご記入の上、封書にて下記の宛先までお申し込みください。

\*冊子は無料ですが、在庫に限りがありますので一件につき一冊までとさせていただきます。

〒520-0047 滋賀県大津市浜大津4丁目1番1号 明日都浜大津5階  
大津市社会福祉協議会 大津市子ども・若者総合相談窓口 宛

## ご意見・ご感想・ボランティア募集

この情報誌をお手に取られた感想やご意見をぜひお寄せください。皆様のお声を、今後の活動に生かしていきたいと思えます。

また、以下の活動内容に関心のある方はぜひご一報ください。一緒に活動してくれる仲間を募集しています。

冊子の広報活動  滋賀県内の子どもの居場所等情報収集

【ご感想・お問合せ】 おうみ子ども・若者未来のタネプロジェクト  
(メール) [oumi.tanepro2020@gmail.com](mailto:oumi.tanepro2020@gmail.com)

このタネがしっかりと根を張って、  
全ての子どもたちの希望となりますように

学校に行きづらい子どもたちのための  
育ちと学びのサポートブック

大津市エリア（保存版）

2021年3月 初版第1刷 発行

作・編集：おうみ子ども・若者未来のタネプロジェクト

協力：大津市子ども若者総合相談窓口(大津市社会福祉協議会)、NPO法人フリースクールみなも

デザイン・印刷：社会福祉法人いしづみ会

表紙作品提供：くりえいとらば 梅田育枝 あや

発行元：おうみ子ども・若者未来のタネプロジェクト

この冊子は2020年度滋賀県社会福祉協議会「ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり事業」の助成を受けて作成いたしました。

